



しげひら

第9号 令和3年12月17日

学校ブログ: www.ed.city.hioki.kagoshima.jp/~jh-kamityu/blogn2611a/blognplus/

上市来中キャッチフレーズ

～個性輝き，協力し，笑顔あふれる学校～

おもな行事



11日(火) 始業式
12日(水) 実力テスト(3年)
18日(火)・19日(水)
鹿児島学習定着度調査(1・2年)
21日(金) 英語検定



4日(金) 中学校入学説明会
9日(水) デイ・ハイ週間
10日(木) 先輩から学ぶ(2年)
12日(土) 質問タイム
ひおき学検定

15日(火) 避難訓練(地震・津波)
16日(水)～18日(金) 学年末テスト
24日(木) 授業参観・学級PTA(1・2年)

「なりたい自分」に向けて

2学期、なりたい自分になるための言葉をいくつか紹介しました。

10月『自分が決めつけた自分』とさよならしよう!

11月『具体的な『夢』『なりたい自分』を持とう!』

12月『今は、何をすればいいか、『段階』を意識しよう!』

3年生は、12月になって私立受験校が決まり、また公立高校受験予定校も確定しています。それぞれが、それぞれの進路に向かって「自分の思い」を1つの結論として出し、その希望進学先を確かなものにしました。それが「なりたい自分」の1つです。これまでも、コツコツ入試に向けて取り組み積み重ねてきたところですが、この12月そして年末年始は、いよいよその総仕上げの時期です。

上の12月の「今は、何をすればいい段階か?」は、3年生にとっては、自分の目標に向けて今不足しているところを確実に補っていく「段階」です。私立や公立高校の実際の入試問題にあたり、自分ができるところとできないところを明確にし、できないところを確実につぎしていく。自分の目標点数に向けて、まずは取れるところから徹底して得点を取っていく。こういった「段階」です。

入試だけではなく、「自分自身をどのように成長させるか」と言う点でもこの12月、1月は大切です。特に1、2年生にとっては、11月に新旧生徒会の交代がなされ、上市来中の新しいリーダーと新しい組織が決定しました。学級においても生徒会の中でも、新しい自分の役割を確実に実行し、そのポジションとしての責任を果たす。そのことを実現する最初の「段階」です。

2学期の初めに何人かが「優しく強い自分」「進んでできる自分」「ポジティブな自分」になりたい、と書いてくれていましたが、

「いま、自分の目指す姿に到達しているか?」

「いま、どんな段階か?」

「今の自分に足りないのはどんなことか?」

をより意識して「よし、今年はここを頑張るぞ!」と強く決意できるのが「年の初め」です。この年末年始は「なりたい自分」を再度振り返り、目指す自分を強くイメージし、変化(チェンジ)する大きなチャンスを生かしてほしいと思います。

2学期も残りわずかとなりました。コロナは以前に比べたら落ち着きをみせていますが、保護者、地域の皆様におかれましても、健康・安全面には十分気をつけて充実した楽しい年末・年始をお過ごしください。

上市来中学校長 川端 成實



郷土教育講演会

11月13日(土)本校の第3期卒業生の徳重榮さんと第19期卒業生の東福泰則さんを講師に招き、郷土教育講演会を実施しました。

上市来中学校の歴史や当時の様子について学びました。生徒の感想からも、中学校が大火事になったことや豚を飼育していたことは大変印象的な話だったようです。御多忙中にも関わらず講師を引き受けてくださり、本当にありがとうございました。この講演会を通じて、生徒の母校愛や郷土愛を育むことができました。



生徒総会

11月16日(火)に生徒総会が行われました。

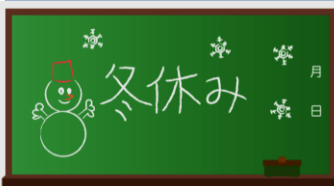
この総会で新生徒会が承認され、3年生から1・2年生に生徒会の役割が引き継がれました。これからの生徒会活動がさらに充実するように頑張してほしいと思います。



授業参観・学校保健委員会・学級PTA

11月19日(金)、午後から授業参観・学校保健委員会・学級PTAが行われました。学校保健委員会は、日置市健康保険課健やか母子係の橋口さんを講師に招き「感染症」について話をいただきました。これからの時期に危惧されるウイルスについて詳しく教えていただきました。本当にありがとうございました。

授業参観、学級PTAにもたくさんの保護者の方々に参加していただき、誠にありがとうございました。今後の教育活動にも御協力をお願いいたします。



冬休みの子どもの安全について

25日からいよいよ冬休みとなります。

この期間は安全上、健康上の問題・事故等が心配されるところです。ついては、安全に過ごすことができるよう、ご家庭でも次のようなご指導をお願いします。

- ① 交通安全を厳守すること。特に自転車の安全な乗り方とヘルメット着用を守りましょう。
 - ② ネットやSNS・ゲーム等については、トラブルに巻き込まれたり、長時間にならないように家庭でルールを決めましょう。
- ★「冬休みのしおり」の中にある『冬休みの生活心得』を親子で必ず確認してください。

第64回鹿児島県児童生徒作文コンクール日置市審査 特選作品

祖母との夏休み 3年 徳重 瞳

私の家族は、父と母と弟と祖母と私。九年前に隣町から父の実家に引っ越してきた。そこから祖母との生活もスタートした訳だが、最近の祖母は、認知症の症状が少しずつでてきている。料理をした後、火を消し忘れていたり、親戚が来ても、困ったような顔をして、「誰け。ばあちゃんとは忘れたが。」と言ったりする。そんな様子を見てみると私のことを忘れてしまっているのかと思う。

昔は、保育園のバスに乗るまで一緒にいて見送ってくれていた。小学生になったら、学校から帰って来て家にいる祖母にゆっくりと近づき、大声で「うわー。」と言って驚かせていた。そうすると祖母は決まって、「びっぐいすつが。」と言う。私はこのやりとりが一番好きだった。最近ではそんなこともなくなり、私と祖母の間には心の距離を感じる。

学校の授業で、先生に「三世代世帯の人はいますか。」と聞かれ、私は手を上げる。正直、手をもたない核家族世帯の友達が多い。一学期の終業式、これから夏休みが始まり、祖母との時間も増えることになる。私は少しだけ憂鬱な気持ちで夏休みを迎えた。

朝起きて一階に下りるといつも通り新聞を読んでいる祖母。暑い日は扇風機をつけてテレビの前で横になる。涼しくなったら、外に出て草取りをしたり、近所のおばあさんと話したりする。私は、「夏はこうやって過ごしているのか。」と思いつつ祖母の様子を見ていた。毎週木曜日はデイサービスがあるので、いつもより楽しそうに準備をして迎えにきた車に乗っていく。ちよっと口角を上げて、

玄関で車を待つ祖母の姿は可愛く思える。ある日、天気が良かったので布団を干すことにした。ベランダに干しきれ



なかった布団があったので、残りを庭に干そうと床下から棒を取り出して準備を始めた。三本の棒をひもで結んで三脚のように組み立てようとするが、バランスが悪くて何度も倒れてしまふ。私が少しイライラしていると、祖母が近寄ってきて、「借さんね。」と言って手伝ってくれた。暑い中、私より頭一つ分くらい小さい体で腕を目一杯上に伸ばしてひもを結んでくれた。棒を支えたりしてくれた。それなのに私は「ありがとう。」を言わなかった。手伝ってくれたのは嬉しかったが恥ずかしさがあり、素直な気持ちを伝えられなかった。結局、その日はもやもやとした気持ちのまま過ごしてしまった。

翌日は暑かった。エアコンのつけ方が分からない祖母はじつと椅子に座っている。扇風機だけではこの暑さは足りないだろうと思い、私は祖母の部屋へ行き冷房をつけた。

「ばあちゃん。部屋に冷房つけてるから涼しいよ。部屋に行きな。」と言うと、祖母は「うん。ありがとうね。」と笑顔で言っていて自分の部屋へ向かって行った。その時、心の距離を感じていたのは自分だけなのではないかと思った。夕方になると、母が帰って来て私に、「ばあちゃんの部屋の冷房つけてくれたの。優しいじゃん。」と言ってきた。その言葉を聞いて、私は祖母にこの前のお返しが出来た気がした。

次の日、私は学校から帰ってくると庭にいる祖母を見つけた。「よし。」と思って、祖母にゆっくりと近づき、「うわー。」と大声で言ってみた。昔のように祖母の言葉が返ってくる。向かい合って驚きながらも笑っている祖母の顔を見ると、心の距離がぐっと縮まった気がして嬉しかった。